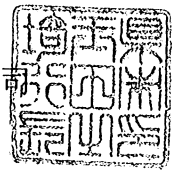


行 道 第 9 5 4 号

平成20年10月30日

国土交通省道路局長 様

行田市長 工 藤 正 市



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼のありました標記の件につきまして別紙のとおり回答いたします。

連絡先

行田市役所 道路治水課

Tel.048-556-1111（内 340）

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

埼玉県行田市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

本市は、埼玉県名発祥の地として、5世紀の終わり頃から7世紀頃のはじめ頃につくられた9基の大型古墳が群集しているさきたま古墳群を始めとして、数多くの文化遺産と水と緑に恵まれており、旧市街地は忍藩十万石の城下町としての長い歴史と伝統のなかで栄えてきた街です。

また、江戸時代より盛んに行われてきた繊維工業の「足袋」は、行田の特産として全国に行田の名を広め、現在でも全国的に多くのシェアを占めております。

こうした歴史的資源や豊かな自然を生かした基盤整備、文化観光拠点整備、長い伝統を持つ地場産業の新たな展開等により、文化の薫り高い個性的な街を実現する可能性を秘めており、このような行田市の持つ潜在的可能性や住民の主体的な参加を求めながら、地域からのまちづくりのための将来ビジョンを明らかにし、行田市固有の歴史、自然、産業、生活文化等の地域特性を踏まえた独自性と創意工夫に富んだ特色あるまちづくりに取り組んでいるところで

す。

特に、道路に関しては市民の生活と密接な関係にあることから、日頃、住民より強い要望が寄せられており、そうした住民の声を受け、安全で快適な生活ができるよう整備推進に取り組んでおりますが、地方自治体を取り巻く社会経済情勢の悪化に伴い、本市におきましても財源の確保に苦慮しているところです。

このため、所要の道路事業費の確保はもとより、地方の補助要望に対し十分な額を措置していただくようお願いいたします。

また、「水と緑 個性あふれる文化都市」を将来像とし、快適で住みよいまちづくりを推進するためには、地方道路整備交付金の継続を含め、できる限り地方の裁量を認めて頂くことが重要と考えます。

道路整備のニーズは都市の規模により違いはありますが、我々市町村の道路については、既存の身の回りの生活道路の維持更新を重点に、まちの実情にあった安全で生活しやすい道路空間に改築(緑地のある歩道空間の整備、交差点改良、電線地中化、景観を重視した信号機や道路標識の更新など)していくことが望ましいと考えます。

その上で、新たな道路整備を進めていくべきと考えますが、まちの実情にあった道路構造で補助採択となるよう、道路構造令(歩車道幅員構成、舗装組成、交差点構造など)の弾力的な運用の整備をお願いいたします。

なお、地方分権改革推進委員会の中間とりまとめにおいて、維持管理に関し「面的な管理の観点から、地域において市町村道と一体として管理することが効率的な都道府県道の管理権限については、市町村に移譲するべきである」と取りまとめているますが、今日、市町村の厳しい財政状況の中では、権限移譲後も、我々市町村に負担のない法整備をお願いいたします。

また、具体的整備としては、埼玉県と群馬県を結ぶ利根川新橋建設について、実現に向けご配慮いただきたく併せてお願い申し上げます。

○現状

1 都市基盤整備状況

- ・都市計画道路3. 1. 1国道17号熊谷バイパスと都市計画道路3. 3. 2国道125号行田バイパスは開通しているが、市街地内の幹線道路では未開通区間も多い。

2 維持補修について

- ・舗装の老朽化対策の遅れによる車両の事故が多発している。

3 主要道路の整備について

- ・進捗調整及び凍結を余儀なくされている。

○課題

1 南北軸となる道路ネットワークの整備

東西には国道17号熊谷バイパス、国道125号行田バイパス等の主要な幹線道路の整備は進んでいるが、市内の南北を結ぶ道路網の整備は遅れており、今後は、その整備とそれに伴う集落間の整備が必要である。

2 歩道整備の強化

集落内の幅員の狭い生活幹線道路や通学道路等、市民生活の中で歩行者が利用する道路について、歩行者の安全確保のため歩道の整備やバリアフリー化が急務である。

3 市の借金を減らす施策に取り組んでいる中、財源確保に苦慮している。

行田市の将来像

1 行田市の都市像「水と緑 個性あふれる文化都市」

この地に暮らす人々を育み続けてくれた「水と緑」に象徴される豊かな自然を次の世代に確実に伝えていくと同時に、これを生かしながら、多様な価値観を持つ市民の一人一人が生き生きとした生活を実現できるまちを目指します。

そのまちづくりの方向として、いにしえの人々から引き継がれてきた輝かしい歴史を守り伝えるとともに、文化の薫り高い、活力に満ちたまちをつくり上げていくことを目標とします。

I 快適で住みよいまちをつくる

(1) 安全で快適な道路・橋りょうの整備

狭い道路の改良やバリアフリー化など、市民が安全で安心できる道路や橋りょうの整備を進めるとともに、市民の利便性向上のため、幹線道路網の整備を進めます。

整備にあたっては、市街地と観光拠点やその他の周辺都市機能とのネットワークに配慮しながら、行田らしい景観の形成にも努めます。

(1)-1 幹線道路の整備

・都市計画道路の整備

事業中の南大通線などについて、その早期完成に努めます。

また、未整備路線については、実施効率や整備効果を慎重に検討しながら、見直しを含めて、計画的な整備方針の確立を図ります。

・幹線市道の整備

南北の軸として整備中の南北道路の早期完成と一層の充実を図ります。

また、東西に横断する国道をはじめとする幹線道路の整備が進む中、これらの道路と既存市道との交差点の整備を推進し、円滑な道路網の確立に努めます。

(1)-2 生活道路の整備

・市道の整備

集落内の狭い生活道路の整備を引き続き積極的に推進することにより、市民生活の安全性や利便性の向上に努めます。

また、集落間を結ぶ道路整備の推進と舗装や側溝の整備等の環境整備を図ります。

・歩道の整備

市民が安心して生活できるよう、ゆとりある歩道の整備を推進します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

埼玉県行田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	現時点において特になし		
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	現時点において特になし		
・計画的・効率的な維持管理や更新の推進	現時点において特になし		